

教育大綱の改定における「新たな視点」の検討項目（案）

現行の教育大綱			教育大綱の改定	
基本方針	方向性	主な施策	新たな視点	新たに取り上げるべき項目
2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進	②社会で生きる実践的な力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用するなど、児童生徒の情報活用能力を育成 ・デジタル教材活用や情報モラル・セキュリティ指導などのための情報教育研修会等の利用による教員のICT活用指導力の向上 	教育環境のデジタル化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 1 ICT環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ① 学習者用端末(タブレット)の整備と活用 ② 超高速インターネット、無線LAN等の学校環境整備 2 オンライン教育(校内授業及び遠隔授業)の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 学校及び家庭(児童生徒)における環境整備 ② デジタル教材等の効果的な活用 ③ 教師のICT活用指導力の向上 3 ICT活用による新たな教育内容の展開 <ul style="list-style-type: none"> ① 対面指導とオンライン教育のハイブリッド型授業による新しい教育様式の実践 ② デジタル教科書・教材の活用 ③ 習熟度別の遠隔授業 ④ プログラミング教育(※)やSTEAM教育(※)の推進 ⑤ SNS等の適切な利用方法や情報モラルを学ぶ教育 <p>※プログラミング教育:「プログラミング的思考」(自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのかなどを論理的に考える力)を育む教育</p> <p>※STEAM教育:「Science(科学)」「Technology(技術)」「Engineering(工学)」「Art(芸術)」「Mathematics(数学)」の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期から高校までの体系的・系統的キャリア教育 ・「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」や地域での体験活動、ボランティア活動など ・高校でのインターンシップや企業経営者による講演 ・キャリア教育アドバイザー等の外部人材や就職支援教員の活用 ・県内求人開拓、地元企業の情報提供や見学・体験等による、高校生の地元企業への理解の促進 ・中学校における企業等と連携しての富山の産業を知り、ものづくりの楽しさを体感する機会の充実 	キャリア教育の更なる推進	<ul style="list-style-type: none"> 1 地域の産業・社会を支える人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ① アカデミック・インターンシップの拡充 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 昨年度参加者: 富山大学 10講座91名 富山県立大学 4講座29名 </div> ② 普通科生徒の県内企業等の見学・実技体験、就労体験 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 富山の企業魅力体験バスツアー昨年度参加者 雄山高校 2学年116名 呉羽高校 1学年230名 大門高校 1学年120名 南砺平高校 1学年24名 </div> ③ キャリアパスポートの作成、活用 <p style="font-size: small; margin: 5px 0;">児童生徒が小学校から高校までのキャリア教育に関わる諸活動について記入 (昨年度、キャリア教育資料作成委員会で作成、今年度4月より学校で活用)</p> 2 特別支援学校における就労支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・就労応援コーディネーター・就労定着サポーターの配置による企業とのマッチング等の推進
		<ul style="list-style-type: none"> ・中学生段階から社会事象や法律・政治に関する関心を高めるとともに、政治的リテラシーを高める教育の充実と高校新科目「公共」に向けた対応 	主権者教育・消費者教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成年年齢引下げに伴う対応 <ul style="list-style-type: none"> ① 主権者教育の推進 (地域課題、租税や財政、法等に関する学習等) ② 消費者教育の推進 (消費生活センターと連携、消費者被害防止に関する教育等)
	④教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の大量退職を見据えた教員の計画的な採用と採用者数の平準化 ・「とやま学校多忙化解消の推進方針」に基づく、教員が児童生徒と向き合いやすい環境整備の推進 ・「チーム学校」※への対応 <p style="font-size: small;">※チーム学校:児童生徒の個別のニーズが多様化し、教員に求められる役割が拡大する中、日本の学校は教員以外の専門スタッフが諸外国と比べて少なく、教員の1週間当たり勤務時間が長い状況にあることから、多様な専門性を持つスタッフを学校に配置するなど、学校の教育力・組織力を向上させ、教員が授業など子供への指導に専念できることを目指した体制づくり</p>	教員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の働き方改革の推進による質の高い教育の取組み <ul style="list-style-type: none"> ① 県立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針に基づく意識改革 ② 勤務時間の把握による長時間労働の解消 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員給与特別措置法改正(R1.12) ・国の指針の通知(R2.1) ①1か月の時間外在校等時間45時間以内 ②1年間の時間外在校等時間360時間以内 ・県条例の改正(R2.3) ・教育委員会規則施行(R2.4.1) ・富山県立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針を通知(R2.4.1) </div> ③ 教育の充実に向けた体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員等の活用 ・スクールサポートスタッフ(※)の配置 ・スクールロイヤー(※)の配置 ④ ICT活用による業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・統合型校務支援システムの整備 ・指導者用端末(タブレット)の効果的な活用 <p>※スクールサポートスタッフ:教員の負担軽減を図るため、学習プリント等の印刷などを教員に替わって行う。 ※スクールロイヤー:児童生徒を取り巻く問題について、弁護士が学校からの相談に応じ、法的側面から支援を行う。</p>

現行の教育大綱			教育大綱の改定	
基本方針	方向性	主な施策	新たな視点	新たに取り上げるべき項目
3 子どもの健やかな成長を支え元気を想像する教育の推進	①豊かな心と健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の活用による、いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・対応のための相談体制の充実 ・学校や家庭と民生委員・児童委員、児童相談所等との連携協力による児童虐待やいじめ、不登校等の早期発見及び対応 	いじめ、不登校等への対応	1 いじめへの対応の徹底 <ol style="list-style-type: none"> ① いじめの積極的認知、情報共有の徹底、適切な対応 ② いじめ防止の研修の充実 ③ ネット上のいじめへの対応 2 不登校児童生徒の教育機会の確保 教育支援センター(適応指導教室)やフリースクールなどの民間施設等との連携・協力体制構築
	②少人数教育と校種間連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭、保育所の保育士及び幼保連携型認定こども園の保育教諭の資質向上研修の充実 ・「幼・保・小接続期カリキュラム」の活用や「保護者支援リーフレット」の作成と配布 ・幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校の指導者が共に学ぶ地域別合同研修会等実施 	幼児教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非認知能力の育成をはじめとした幼児教育の質の向上 <ol style="list-style-type: none"> ① 幼児教育センターによる研修支援、幼小接続の推進 ② 幼児教育の関係機関等との連携・体制づくり ③ 幼児教育アドバイザー、スーパーバイザーによる訪問研修 ④ 幼児教育における市町村推進リーダーの育成
	③特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」の作成など、発達障害を含む障害のある子どものニーズに応じた教育の推進 	小学校高学年における教科担任制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校高学年における教科担任制導入に向けた調査研究 <ol style="list-style-type: none"> ① 小学校から中学校までの義務教育9年間を見通した教育課程 ② 小学校間の連携(小学校における教師間の分担)や小・中学校の連携
		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校専科教員、学びサポート講師などによるきめ細かな学習・生活指導 ・教科担任制である中学校への円滑な接続を図るため、専門性の高い教科(理・音・図・体)における専科指導を実施 	連続性のある多様な学びの場の整備とICTの利活用	1 障害のある子ども一人一人の教育的ニーズに応じた連続性のある多様な学びの場の整備 <ol style="list-style-type: none"> ① 特別支援教育に関する教師の専門性の向上 ② 切れ目のない支援のための関係機関の連携強化(個別の教育支援計画の活用等) 2 ICTの利活用による指導の充実や社会参加の促進 一人一人の障害に応じた利活用環境の整備と教師の指導力向上

令和2年度より3年間で60名養成

現行の教育大綱			教育大綱の改定	
基本方針	方向性	主な施策	新たな視点	新たに取り上げるべき項目
4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実	① 県立学校の教育環境の整備・充実	・魅力と活力のある県立学校についての検討	高等学校の特色化・魅力化	Society5.0の新たな時代に求められる資質・能力の育成 1 探究的・科学的な思考力を高める取組み(普通科のあり方を踏まえた検討) ① 総合的な探究活動の充実(大学、企業、行政等の連携) ② グローバル人材の育成(海外の高校との交流、その他高等教育機関・研究機関との連携) 2 最先端技術や地域産業のニーズに対応した職業教育 ① 地域産業界と学校が一体となった実践的教育の推進 (産官学の連携による教育課程の開発実践、企業等の外部講師による直接指導等) ② 最先端の施設・設備の整備、教員の資質能力の向上 (最先端の指導技術を学ぶ教員向け講習、地元企業等の施設を学びの場として活用) ③ 研究成果を地域課題解決に向けて提案 3 ICTを活用した定時制教育・特別支援教育の充実 ① ICTを活用した学び直しに関する教員研修 ② 自立活動のための教材作成 ③ 地域との交流活動の実施
		・県の奨学金制度などを活用した高校生への修学支援	教育負担軽減 外国人児童生徒等への教育支援 など	1 教育へのアクセス向上、教育費負担軽減に向けた経済的支援 ① 経済的理由により就学が困難な学生・生徒に対する無利子奨学金の貸与 ② 私立高校について、就学支援金(国制度)に加え、授業料無償化の対象外となる世帯に対する授業料等や低所得者世帯の入学料の減免補助 2 帰国児童生徒、外国人児童生徒等への教育支援 ① 日本語指導を行うための教育配置 ② 実践的な教員研修の実施 3 夜間等における学びの場の確保に向けた調査研究 4 高等学校定時制課程・通信制課程の質の確保・向上(生徒の多様なニーズに対応)
	③ 大学教育・学術研究の振興	・大学コンソーシアム富山の取組み支援 ・COC+事業を活用し、雇用創出や新規学卒者の地元定着を推進 ・県立大学の医薬品工学科新設、定員増、施設・設備整備 ・県立大学に看護学部を新設 ・優秀な留学生の県内高等教育機関へ受入れ拡大	大学教育の振興	・大学教育の充実強化 ① 県立大学工学部におけるデジタルトランスフォーメーション教育への対応 ② 県立大学看護学部における大学院等の設置検討 ③ 県内大学生の地元定着や県内からの志願者・入学者を増加させる取組みへの支援 ④ 学生の海外留学・海外研修への参加促進
5 生涯を通じた学びの推進	③ キャリアを磨く実践的な学びの推進	・専修学校等が行う社会人のキャリアアップのニーズに対応した実践的な職業教育や専門的な技術教育への支援 ・高等教育機関が行う社会人を対象とした公開講座や高度かつ専門的な教育の充実・支援	リカレント教育の推進	1 新たなステージを求めることができる能力・技術を身に付ける機会の提供 ① 高等教育機関等が社会人向けに提供する多様な学習プログラムに対する支援 ② 高等教育機関等におけるオンラインによるリカレント教育の推進 ③ 県立大学における社会人向けセミナーや県民開放授業の充実 ④ 結婚・出産等で離職した女性の再就業など、女性のライフイベントに応じた切れ目のないキャリア形成の支援 2 学び直しを続ける環境づくり、学びやすい環境の整備 ① 学ぶ人や事業者等のニーズに応じた学習プログラムや学び直しに係る情報発信の充実 ② 学びやすい環境づくりに向けて実務的に協議する産学官連携体制の構築

現行の教育大綱			教育大綱の改定	
基本方針	方向性	主な施策	新たな視点	新たに取り上げるべき項目
6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり	③高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興	・小・中・高校生向けのノベル教室・読書感想文講座の開催や高校生による朗読会など、高志の国文学館の創作の場としての活用の推進	中高生の創作活動の環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生がふるさと文学・創作活動に触れる機会の創出 ① アフレコチャレンジ教室などのサブカルチャー講座、県内の中学生を対象にした短歌講座のほか、高校書道部による書道パフォーマンスを開催 ② 文学館の教育・啓発アウトリーチ事業として著名な名作や富山ゆかりの文学作品のパネルを小、中、高校生向けに貸し出しを行うほか、企画展における学校との共同企画など、生徒が主体的にふるさと文学に触れ合う機会の創出
7 次世代を担う子どもの文化活動の推進	① 子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進	一流音楽家による小学校での出前コンサートの開催支援や、県内芸術家による親しみやすい公演の開催など、子どもを対象とした質の高い芸術鑑賞の機会の拡充	次世代を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 1 次世代を担う子どもたちに、質の高い音楽鑑賞の機会を創出 0歳から参加できるコンサート、学校コンサート等の子どもを対象としたコンサートのほか、室内楽フェスティバル、ミュージアムコンサート等、県内外の演奏家による質の高い演奏を鑑賞できるコンサートを開催 2 子どもたちの国際的な文化交流の促進 世界各地、県内外から招へいた優れた舞台芸術団体による舞踊、民話劇、ミュージカル等の多彩な舞台公演や芸術文化体験などのワークショップ、交流事業など「とやま世界こども舞台芸術祭」の開催
	③富山県美術館をはじめとする文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興	・デザイン振興の視点も取り入れながら、富山県美術館に創作と体験ができるアトリエやギャラリーを設置し、県内外の一流の作家を講師としたワークショップの開催や作品展示をするなど「見る、創る、学ぶ」といった双方向の体験の機会の充実	美術体験・学習機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な美術体験・学習の機会を創出 ① 富山県美術館においてデザインの視点も取り入れながら県内外の一流の作家を講師としたワークショップの開催や作品展示をするなど「見る、創る、学ぶ」といった双方向の体験の機会の充実 ② 小さいころから美術に興味を持ってもらえるような親子向けワークショップ、学校単位での団体鑑賞など教育普及活動を積極的に展開
	④伝統文化の保存・継承	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの文化遺産を次世代につなぐ、国・県指定文化財の保存等の推進 ・高校の郷土芸能部の活動や、小中学校における地域の人材の協力を得て行う伝統文化や伝統芸能を学び継承する活動の支援 ・文化財ボランティアなど、伝統文化を保存・継承する人材の育成・確保 ・県民が活用しやすい伝統文化の情報提供などによる伝統文化の魅力発信 ・体験学習会の開催など、埋蔵文化財に対する理解・学習の促進 	文化財の価値や魅力の情報発信 文化財の保存・活用を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 1 文化財の価値や魅力の情報発信 ・これまで文化財に親しむ機会が少なかった若い世代に、その価値や魅力をアピールして、ふるさとへの誇りや愛着を一層、育むため情報発信を強化 ① SNS等による情報発信の推進 ② 現地での公開・活用に加え、VR・ARなどの先端技術を駆使した体感型の情報発信 2 文化財の保存・活用を担う人材の育成 ・地域固有の伝統文化を受け継ぐ、次世代の担い手確保、育成を推進 ① 学校や地域で子どもたちが、ふるさとの歴史・文化を学ぶ機会の充実 ② 高校生・大学生など若い世代が文化財ボランティア等へ参加する機会の提供 ③ 高等教育機関等と連携した、文化財保護に関わる専門家や後継者の育成
8 元気を創造するスポーツの振興	①県民がスポーツに親しむ環境づくり ④スポーツを支える人材の養成と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・県内3プロチームと連携したイベント等の実施によるスポーツを楽しむ裾野の拡大 ・子どもの健全育成と地域の活性化を図るため、県内を本拠地とするプロスポーツチームに子どもスポーツ教室開催委託、チームの地域貢献活動を支援 ・スーパーコーチ事業やスーパートレーナーの設置 ・ナショナルトレーニングセンター（NTC）などへの派遣・研修 ・国内トップレベルの指導者招へいによる本県指導者の資質向上 	スポーツを通じた地域の活性化 強化拠点整備の推進と有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを通じた地域の活性化 ① 県内のプロスポーツチームとの連携による子供たちを対象としたスポーツ教室、イベント等の開催や、各チームが取り組む地域貢献活動への支援 ② 県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントや富山マラソン、湾岸サイクリングなど、本県の豊かな自然環境等や県内各地の地域特性を活かしたスポーツイベント等の開催 ・ スポーツ医・科学的サポート機能や宿泊設備を有する県総合体育センター等を拠点とする総合的な強化活動を推進 ① 競技力向上の中核拠点となる施設の整備と機能の充実 ② スタッフの資質向上によるスポーツ医・科学的サポートの充実 ③ 優れた練習環境(※)を活かした施設で、全国的・国際的スポーツ大会等の誘致を推進 <p>(※)空港や新幹線の利便性が向上した交通アクセスを有し、国際基準を満たし、国際大会の開催や日本代表や海外選手団の合宿実績がある。</p>

現行の教育大綱			教育大綱の改定	
基本方針	方向性	主な施策	新たな視点	新たに取り上げるべき項目
8 元気を創造するスポーツの振興	②学校等における体育・スポーツの充実	・幼稚園・学校が家庭や地域と連携して取り組む「元気っ子育成計画」の実施や「きときと夢体操」の普及 ・幼稚園や学校における体力づくりの実践例や、運動習慣等に関する積極的な情報提供による、学校や地域等の実態に応じた特色ある取組みの推進 ・教員の指導力向上と専門的な指導力を有する地域等のスポーツ人材活用による、体育の授業の充実や中学・高校の運動部活動の活性化	学校における体育・スポーツ活動の推進	<p>・ 学校における体育・スポーツ活動の推進</p> <p>① 小学校において、体力向上シート「みんなでチャレンジ 3015」を活用 立山編：目標をもって意欲的に体力向上に取り組む。 富山湾編：スポーツとの多様な関わり方を図る。</p> <p>② 保護者をはじめとした県民全体が、子どもの体力の重要性について正しい認識をもつよう、新聞・テレビなどマスメディアへの積極的な情報提供などによる啓発</p> <p>③ 生徒の多様なニーズに応えられるよう、地域のスポーツ指導者や、トレーナー、栄養士等を活用する「スポーツエキスパート派遣事業」の継続と、教職員をはじめとした部活動指導者の指導力向上事業の推進</p> <p>④ 少子化等により、団体競技を中心に運動部活動の継続が困難な状況にあることから、学校体育団体と連携し、複数校合同運動部活動の取組を支援</p> <p>⑤ 中央競技団体が作成した、運動部活動用指導の手引きを活用し、合理的でかつ効率的・効果的な活動を推進</p>
9 教育を通じた「ふるさと富山」の創生	①地域を支える人材の育成	・県と高等教育機関との連携協力により、地域課題を解決できる人材の育成を推進	富山ならではの教育の推進	<p>・ Society 5.0 といわれる超スマート社会や人生 100 年時代という変化の激しい時代における、ICTなどを活用した新しい教育様式による、未来の富山を担う人材の育成</p> <p>① 自分自身で自分の人生を主体的に切り拓いていく意思を持ち、自分の未来をつくりだす能力の育成 (H31.1 富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議提言)</p> <p>② ふるさとへの誇りと愛着を持ちながら、国際的素養を身に付け、地域や国際社会が抱える課題を解決できるグローバル人材の育成 (H31.1 富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議提言)</p> <p>③ ものづくり産業をはじめとする地域産業を担う、デジタル技術など先端技術を活用できる人材の育成 (R2.3 第2期とやま未来創生戦略)</p> <p>④ 人生100年時代における生涯学習の重要性の発信 (H31.1 富山県における人生100年時代ひとづくり構想会議提言)</p> <p>⑤ とやまの先人の生き方への理解を通して広い視野を獲得し、郷土の特色を全国や世界に発信できる力の育成 (H25.3 『高校生のためのふるさと富山』)</p> <p>⑥ 郷土の先人の生き方などに学び親しみ共感しながら、ふるさと富山に誇りや希望をもって、富山県や日本の活力や魅力のある社会づくりに貢献できる人の育成 (H23.3 『ふるさととやまの人物ものがたり』)</p> <p>⑦ 科学的な見方や論理的な考え方を身に付け、難しい問題にも柔軟に対応し解決する力の育成 (H29.3 『ふるさととやまの自然・科学ものがたり』)</p> <p>⑧ 主体的にふるさと文学に触れ合う機会の創出 (高志の国文学館が実施する企画展における学校との共同企画など)</p>